

【現代社会学科 国語基礎学力型】

設問一	①	②	③		
	ばいかい	さくそう	へいそく		
	④	⑤			
	ぬぐ(う)	さげす(み)			
設問二	(1)	(2)	(3)		
	表象	恒常	徹底		
	(4)	(5)			
	身体拘束	培(って)			
設問三	本来他者に秘匿してきたみずからの身体のケアを、否応なく他者にゆだねるということ (39字)				
設問四	労働				
設問五	介護がこれまで介護する側からのみ語られてきた一方で、受け手から発せられる言葉が乏しかったという非対称性と、ケア・サービスの関係においてサービスの受け手は関係を下りられないが与え手は下りられるという、両者の間に権力関係をもたらし得る非対称性。(120字)				
設問六	置くということである				
設問七	1	2	3	4	5
	×	×	○	×	×
設問八	ケア・サービスの与え手と受け手との間の非対称性によりサービスが権力関係と化し、非介護者は他者からの侵蝕を受けると同時にその辱めを口にできないという二重の暴力性によって、自らを蔑むようになってしまうということ。(104字)				
	ケア・サービスの与え手と受け手との関係をサービスの提供者と顧客の関係と見なすことで、被介護者の存在を受動化し、セルフ・ケアの芽を摘んでしまい、社会的な存在意味を殺いでますます生きがたくしてしまうということ。(103字)				